

Date: March 25, 2013

Publication: ENN Japan

Headline: aspenONE V8 Focuses on Production Optimization and Less Reliance on Engineers

AspenTech announces the launch of aspenONE V8, which increases productivity, as engineers can multi-task and operate previously independent functionalities.

Engineering workflow review

The key products within aspenONE solutions set include Aspen HYSYS, Aspen Plus and Aspen PIMS.

For V8, Aspen HYSYS and Aspen Plus have been upgraded for engineering purposes. The upgraded Aspen HYSYS allows process engineers to calculate cost by conducting simulations, allowing the engineer to be more versatile. Energy analysis can be performed using a single engineer's cost calculations. This allows process engineers to create their own estimates, which reduces the resources required and increases productivity by reviewing the workflow of engineering companies.

Many functionalities such as enhanced economic and energy analysis, improved design function for heat exchangers, intuitive usage, increased plant data visibility and easier installation. Increased functionality includes the ability to analyze solids with Aspen Plus, following the company's acquisition of SolidSim last February. The new launch includes an enhanced heat exchanger design performance.

Facilitating cost cutting

With the latest upgrade, cost/energy usage and economic efficiency are optimized. Cost and energy usage can be reduced based on a process engineer design with constantly updated data. A process control functionality to minimize loss and bolster profits has also been enhanced.

Aspen PIMS, a petroleum refining scheduler, enables the operational status of refineries to be viewed.

Increasing customer profitability

Optimization will help customers increase profits by reducing inefficiencies.

For instance, the top three companies in each of the respective fields such as engineering, oil & gas and chemical, have already been able to optimize their profits using AspenTech.

アスペンテック、最新の「AspenONE V8」を発売 生産性向上に特化、エンジニアの削減も可能

アスペンテックはこのほど、最新の「AspenONE V8」を発売した。

化学プラントの設計におけるシミュレータを提供するアスペンテックだが、今回のバージョンアップでは、これまで分離していた業務の統合により、エンジニアの多能工化が可能になり、限られた要員で生産性の向上が図れるなどのメリットが得られる。

エンジニアリングの ワークフローを見直し

「AspenONE」は、ダイナミックシミュレータの「Aspen HYSYS」、シミュレータの「Aspen Plus」、石油製品のサプライチェーンを扱う「PIMS」などで構成される統合ソフト。

化学プラントのエンジニアリングから、稼働後の製品コントロールまで、プラントのライフサイクルを通じて使用できる。

今回のバージョンアップでは、エンジニアリング面では、「Aspen HYSYS」と「Aspen Plus」のバージョンアップが行われた。

「Aspen HYSYS」のバージョンアップは、アスペンテックの開発部門が、全世界にいる「HYSYS」の愛好者と意見交換を行い、その成果を開発に役立てている。

そのバージョンアップでは、プロセス設計者がシミュレーションを実施することで、簡単なコスト計算ができる。また一人のエンジニアのコスト計算でエネルギー解析が可能になるなど、一人の設計者のマルチ化が図れるようになった。要は、プロセスエンジニアが簡単な見積りであれば、対応できる。この機能が加わったことで、その使いやすさでは、エンジニアリング企業のワークフロー全体を見直し、要員の削減や生産性の向上が図れる。

経済性分析機能やエネルギー分析機能の充実、熱交換器の設計機能の向上、直観的な使用、プラントデー

タ視覚性の向上、インストールが容易、などの機能アップが実現された。

「Aspen Plus」は、アスペンテックが昨年2月に買収した固体解析の「SolidSim」の機能を搭載した。また、その他の本来のシミュレータとしての機能も充実している。

シミュレータの基本機能である、経済性分析やエネルギー性能分析の向上が図られたほか、熱交換器の設計機能も向上した。また「SolidSim」の機能が加わったことで、固体プロセスのモデリング機能が加わった。また、「AspenHYSYS」と同様に、直観的に使用できるようになったほか、プラントデータの視覚性の改善、視覚性の改善も図られた。

コスト削減にも寄与

今回のバージョンアップでは、コストとエネルギー使用の最適化が図られると同時に、経済性の向上が図られている。

「AspenPLUS」「AspenHYSYS」のいずれも、投下資本コスト、操業資本コスト、エネルギーコストを継続的に確認できる。コストとエネルギーを常時アップデートできるため、プロセスエンジニアの設計におけるコスト、エネルギー使用、無駄の削減、などが実現できる。

プロセスコントロールにおいても、ロス削減して、利益を増大させるための機能が強化された。

また石油精製の生産スケジューラである「AspenPIMS」は、製油所の稼働状況を可視化できる。

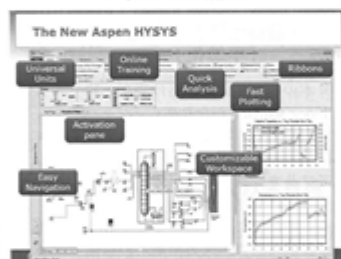
全世界のプロセス産業の 利益を5%増加

今回のバージョンアップは、生産性の向上を最優先に実現されたもの

「AspenONE」のバージョンアップ



AspenHYSYSの改善点



で、使用方法によっては、エンジニアリング企業にも大きなメリットをもたらす。全世界で無駄に費やされている年間5,000億ドルを利益にすることを目的に開発されており、この無駄が排除された利益に変われば、世界のプロセス産業の利益は5%増加する。

アスペンテックでは、すでに「世界のエンジニアリング企業トップ3が使用することで利益を改善できた」また「世界のオイル&ガス企業トップ3がソフトウェアの最適化に貢献した」、「化学メーカーのトップ3がプロセスコントロールを改善させた」としており、「AspenONE V8」の完成度に自信を持っている。